

令和5年度 各会計別補正予算(案)概要

令和6年2月

区 分	令 和 5 年 度 予 算 額			前 年 度 予 算 額 B	比 較 増 減	
	既定予算額	補正予算額	計 A		C=A-B	C/B×100
一 般 会 計 (第 9 号 補 正)	千円 340,844,728	千円 △5,815,241	千円 335,029,487	千円 339,446,155	千円 △4,416,668	% △1.3
国民健康保険特別会計 (第 3 号 補 正)	73,067,476	△770,108	72,297,368	72,132,696	164,672	0.2
介護保険特別会計 (第 3 号 補 正)	69,895,214	△869,993	69,025,221	67,890,308	1,134,913	1.7
後期高齢者医療特別会計 (第 2 号 補 正)	18,096,917	△408,824	17,688,093	17,597,610	90,483	0.5
合 計	501,904,335	△7,864,166	494,040,169	497,066,769	△3,026,600	△0.6

*前年度予算額は、各会計とも令和4年度の最終予算額である。

令和5年度 一般会計補正予算(第9号)総括表

(1)歳入予算款別表

科 目(款)	既定予算額	補正予算額	計		前年度予算額		比較増減	
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年度比
	千円	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 特別区税	53,687,073	679,856	54,366,929	16.2	52,955,054	15.6	1,411,875	2.7
2 地方譲与税	983,701	0	983,701	0.3	1,049,001	0.3	△65,300	△6.2
3 利子割交付金	108,000	69,000	177,000	0.1	170,000	0.1	7,000	4.1
4 配当割交付金	779,000	163,000	942,000	0.3	864,000	0.3	78,000	9.0
5 株式等譲渡所得割交付金	691,000	0	691,000	0.2	691,000	0.2	0	0.0
6 地方消費税交付金	15,300,000	0	15,300,000	4.6	15,587,000	4.6	△287,000	△1.8
7 自動車取得税交付金	1	4,875	4,876	0.0	1	0.0	4,875	著増
8 環境性能割交付金	238,000	0	238,000	0.1	253,398	0.1	△15,398	△6.1
9 ゴルフ場利用税交付金	1,849	721	2,570	0.0	2,496	0.0	74	3.0
10 地方特例交付金	573,000	86,248	659,248	0.2	744,157	0.2	△84,909	△11.4
11 交通安全対策特別交付金	73,000	0	73,000	0.0	72,000	0.0	1,000	1.4
12 特別区交付金	111,059,000	0	111,059,000	33.1	107,884,470	31.8	3,174,530	2.9
13 分担金及び負担金	2,104,191	107,558	2,211,749	0.7	2,302,273	0.7	△90,524	△3.9
14 使用料及び手数料	4,294,146	374,720	4,668,866	1.4	4,621,072	1.4	47,794	1.0
15 国庫支出金	70,698,932	△557,545	70,141,387	20.9	84,750,645	25.0	△14,609,258	△17.2
16 都支出金	42,674,303	△1,303,963	41,370,340	12.3	28,389,934	8.4	12,980,406	45.7
17 財産収入	439,893	92,178	532,071	0.2	623,415	0.2	△91,344	△14.7
18 寄付金	133,997	85,127	219,124	0.1	280,069	0.1	△60,945	△21.8
19 繰入金	25,423,648	△3,737,372	21,686,276	6.5	29,096,671	8.6	△7,410,395	△25.5
20 繰越金	6,429,153	0	6,429,153	1.9	5,328,062	1.6	1,101,091	20.7
21 諸収入	3,617,841	△348,644	3,269,197	1.0	3,777,437	1.1	△508,240	△13.5
22 特別区債	1,535,000	△1,531,000	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0
歳 入 合 計	340,844,728	△5,815,241	335,029,487	100.0	339,446,155	100.0	△4,416,668	△1.3

*前年度予算額は、令和4年度の最終予算額である。

*構成比は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合がある。

(2)歳出予算款別表

科 目 (款)	既定予算額	補正予算額	計		前年度予算額		比較増減	
			金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年度比
	千円	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 議会費	970,279	△3,509	966,770	0.3	929,827	0.3	36,943	4.0
2 総務費	40,775,822	△3,066,630	37,709,192	11.3	42,048,692	12.4	△4,339,500	△10.3
3 民生費	168,351,431	△620,651	167,730,780	50.1	161,468,175	47.6	6,262,605	3.9
4 産業経済費	8,067,577	△1,583,749	6,483,828	1.9	6,216,095	1.8	267,733	4.3
5 環境衛生費	27,695,165	△3,484,754	24,210,411	7.2	29,542,551	8.7	△5,332,140	△18.0
6 土木費	24,018,356	△1,871,002	22,147,354	6.6	26,609,738	7.8	△4,462,384	△16.8
7 教育費	41,001,195	3,722,361	44,723,556	13.3	44,725,926	13.2	△2,370	0.0
8 公債費	3,789,071	0	3,789,071	1.1	3,425,034	1.0	364,037	10.6
9 諸支出金	25,775,832	1,092,693	26,868,525	8.0	24,080,117	7.1	2,788,408	11.6
10 予備費	400,000	0	400,000	0.1	400,000	0.1	0	0.0
歳 出 合 計	340,844,728	△5,815,241	335,029,487	100.0	339,446,155	100.0	△4,416,668	△1.3

*前年度予算額は、令和4年度の最終予算額である。

*構成比は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合がある。

令和5年度 一般会計補正予算(第9号)性質別経費

区 分	令和5年度予算額					前年度予算額		比較増減	
	既定予算額		補正予算額	計		金額	構成比	金額	前年度比 C/B×100
	金額	構成比	金額	金額A	構成比	B		C=A-B	
	千円	%	千円	千円	%	千円	%	千円	%
人件費	40,125,537	11.8	△401,222	39,724,315	11.9	39,875,074	11.7	△150,759	△0.4
扶助費	111,179,496	32.6	△1,452,203	109,727,293	32.8	108,362,720	31.9	1,364,573	1.3
公債費	3,789,071	1.1	0	3,789,071	1.1	3,425,034	1.0	364,037	10.6
投資的経費	38,766,571	11.4	△5,256,250	33,510,321	10.0	38,867,003	11.5	△5,356,682	△13.8
その他一般行政経費	146,984,053	43.1	1,294,434	148,278,487	44.3	148,916,324	43.9	△637,837	△0.4
合 計	340,844,728	100.0	△5,815,241	335,029,487	100.0	339,446,155	100.0	△4,416,668	△1.3

*前年度予算額は、令和4年度の最終予算額である。

*構成比は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合がある。

令和5年度 一般会計補正予算(第9号) 主要事業概要

(単位:千円)

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
議会費	△3,509	1 区議会運営事務	△3,280	1 区議会改選に伴う議員バッチ、ゴム印、防災服(45人分)の購入実績に基づく消耗品費の減 △2,330千円(6,373→4,043) 2 区議会改選に伴う議員執務用椅子の購入実績に基づく備品購入費の減 △556千円(1,279→723) 3 各種行事への参加会費等実績による議長交際費の減 △394千円(2,000→1,606)
総務費	△3,066,630	1 施設営繕事業	△1,039,460	1 投資的委託料の減 △174,717千円 (1) 竹の塚温水プール及び悠々会館大規模改修工事工事監理等業務委託 △135,907千円(235,853→99,946) 工事期間中、常駐で監理することを想定し予算算定していたが、大規模な躯体工事を伴わないことを考慮して、常駐ではなく定例会議や検査時のみの監理としたため、不用額が生じた。 (2) 文化芸術劇場ほか1か所空調設備その他改修工事設計委託 △7,383千円(18,793→11,410) ア 当初はギャラリー移動壁及びパーテーションの改修を検討していたが、現場確認の結果、状態が良かったため、全面取替からクロス張替に変更し、設計から外した(△4,630千円)。 イ 上記アの設計内容の変更に伴う、石綿調査箇所への減少による減額(△755千円)。 ウ 契約差金等(△1,998千円) (3) 都市農業公園温室棟・工房棟改修その他工事設計委託 △6,760千円(19,858→13,098) 当初雨漏りの影響による内装の全面改修を予定していたが、現地調査の結果、令和9年度の大規模改修まで現在の内装で耐えられることが判明したため、外装改修及びトイレ改修以外の設計を先送りした。 (4) 足立福祉事務所(中部)風除室設置工事設計委託ほか4件 △16,287千円(16,287→0) 工事設計については、現地調査を踏まえ、風除室の新規設置を内側扉の設置に切り替え、設計が簡易となったため、設計を外部委託せず、職員による設計とした。その他4件についても担当課が設計内容を精査していく中で、設計内容が比較的簡易であり、時間的効率や経済性等を個別に勘案し、職員による設計が可能と判断したものは、設計業務を外部委託しなかったため、区の支出を要しなかった。 (5) 上記(1)～(4)以外の設計委託の契約差金等(20案件) △8,380千円(135,206→126,826)

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
(総務費)		(施設営繕事業)		<p>2 工事請負費の減 △864,743千円</p> <p>(1)郷土博物館大規模改修工事 △234,010千円(730,000→495,990)</p> <p>ア 現在の瓦屋根から金属屋根への改修について、価格・耐用年数・保証の有無など、費用対効果を考慮し材料選定を行った結果、経費が削減された(△98,183千円)。</p> <p>イ 既存瓦を石綿含有として予算算定したが、石綿含有では無かった為、処分費が削減された(△81,897千円)。</p> <p>ウ 契約差金等(△53,930千円)</p> <p>(2)竹の塚温水プール及び悠々会館大規模改修工事 △200,698千円(2,410,377→2,209,679)</p> <p>令和5年度は3か年契約の最終年度であり、インプレスライド及び設計変更による契約金額の増額変更を行った。令和5年9月29日に工事が完了したため、不用額を減額する。</p> <p>(3)加賀保育園園庭改修工事 △153,183千円(153,183→0)</p> <p>2度の入札不調(R5.6.1、R5.6.27)に伴い、適正な工期を確保できなくなったため、改修工事を令和6年度に変更した。</p> <p>(4)足立福祉事務所西部福祉課・押皿谷住区センター外壁改修その他工事 △61,672千円(171,782→110,110)</p> <p>ア 大規模改修を令和8年度に実施することが決定したため、雨漏り対策として外壁改修を優先して実施した。当初予定していた外構については、現地調査の結果、現状で令和8年度まで耐えられることが判明したため、大規模改修まで先送りした(大規模改修:内装、受変電設備、照明、エレベーター、給排水衛生設備、外構等を予定)(△16,000千円)。</p> <p>イ 葺き替えを伴う屋根の全面改修を予定していたが、設計調査の結果、状態が良かったため、塗装の塗り替えに変更した(△35,000千円)。</p> <p>ウ 契約差金等(△10,672千円)</p> <p>(5)都市農業公園昇降機設備改修工事 △53,101千円(61,541→8,440)</p> <p>点検結果・耐用年数を踏まえ、令和9年度予定の大規模改修時に先送りした(昇降機のうち、小荷物昇降機設備改修工事のみ令和5年度に実施)。</p> <p>(6)大谷田住区センター大規模改修工事 △42,730千円(192,000→149,270)</p> <p>家具工事について全て撤去新設を予定のところ、現場調査にて状態を確認し塗装改修に切り替えるなど、主管課との設計協議による工事内容精査に伴い工事費を削減した。</p> <p>(7)上記(1)~(6)以外の各施設改修工事の契約差金等(39案件) △119,349千円(2,200,500→2,081,151)</p>

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
(総務費)		2 電子計算組織管理運営事務	△846,008	<p>1 学校ICT関連経費の契約差金等の減 △533,608千円(3,560,386→3,026,778) 区内全小・中学校の特別教室等へのWi-Fi機器導入及び各教室の無線アクセスポイント2台目増設等(15件)の契約差金等</p> <p>2 庁内連携・情報連携プラットフォームOS更改に伴う各システムの連携テスト用経費等(10件)の契約差金等による減 △86,987千円(185,545→98,558)</p> <p>3 業務端末・基幹系端末リース・ライセンス契約等(19件)の契約差金等による減 △140,255千円(2,183,787→2,043,532)</p> <p>4 足立区窓口DX(事前申請システム及び申請書作成支援端末導入)の契約差金による減 △33,166千円(73,680→40,514)</p> <p>5 各種業務系端末保守委託(13件)の契約差金等による減 △27,957千円(1,099,821→1,071,864)</p> <p>6 戸籍システム用スキャナー・生体認証装置等機器更改調達経費の契約差金による減 △11,575千円(43,957→32,382)</p> <p>7 あだちFree-WiFi増設・機器修繕の不用見込額及びLGWAN回線利用料確定に伴う不用額等の減 △9,870千円(328,286→318,416)</p> <p>8 システム関連故障対応経費等の不用額等の減 △2,590千円(6,058→3,468)</p>
		3 給与費	△300,000	<p>1 職員退職手当の減 △300,000千円(1,832,687→1,532,687) 定年退職年齢の段階的引き上げにより令和5年度の定年退職者(61歳)は0人である。しかし、これまでの定年年齢である60歳での早期退職者が一定数見込まれたため、その予算を計上したが実際は想定数より少なかった。 60歳到達者87人のうち、当初見込33人 → 実績見込20人 差引△13人</p>

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
(総務費)		4 個人番号カード交付等事務	△168,405	<p>1 マイナンバーカード交付に係る事務経費の減 △119,811千円(454,073→334,262) 令和6年秋からの健康保険証の原則廃止(マイナンバーカードとの一体化)を踏まえ、令和5年度の目標を交付率85%、交付数約19万枚と見込んで予算計上したが、令和5年5月以降に発生したマイナンバーの誤紐付け等の影響により申請及び交付が伸びず、令和5年度末時点で交付率74%、交付数10万枚程度の実績見込みとなった。交付見込枚数の減少等により生じる不用額を減額する。</p> <p>(1)カード交付準備委託の交付見込枚数の減少(190,000枚→100,000枚 差引△90,000枚)による減 △51,569千円(319,544→267,975) (2)申請サポート委託の申請見込数の減少(35,000枚→3,000枚 差引△32,000枚)による減 △24,640千円(26,950→2,310) (3)交付通知書等の郵送費(336,300通→175,300通 差引△161,000通)の減 △16,056千円(29,615→13,559) (4)交付通知書等送付用封筒作成費の数量差(310,000通→134,000通 差引△176,000通)による減 △1,509千円(2,552→1,043) (5)交付会場受付整理委託の契約差金による減 △22,115千円(48,906→26,791) (6)印刷用トナーほか事務用消耗品等の減 △3,922千円(26,506→22,584)</p> <p>2 マイナポイント設定サポート窓口委託の契約差金による減 △48,594千円(74,910→26,316)</p>
		5 庁舎管理事務	△113,628	<p>1 本庁舎清掃業務委託、設備環境管理業務委託、本庁舎駐車場警備委託、本庁舎出入り口警備等委託、庁舎ホール舞台操作等管理業務委託、庁舎ホール受付業務委託の契約差金による減 △63,000千円(681,561→618,561)</p> <p>2 本庁舎電気料金の実績見込による光熱水費の減 △50,000千円(337,297→287,297)</p> <p>3 負担金、旅費等の不用額の減 △628千円(961→333) 防火管理技能講習会等の負担金については、庁舎管理業務を行うにあたり必要な資格を取得するための費用であるが、職員異動の状況に応じて受講を要する講習会が変動するため、予算算定時の見込み数よりも受講必要数が少なかった。</p>

款別	補正額	事業名	金額	計上概要																																		
民生費	△620,651	1 生活保護費給付事業	975,825	1 生活保護給付費の減 △523,631千円(47,106,310→46,582,679) 10月までの支給実績を前年度と比較し、決算見込を算出 (1)医療扶助の決算見込減 △443,592千円 (2)介護扶助の決算見込減 △80,039千円																																		
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療扶助</td> <td>774,345件</td> <td>23,230,369千円</td> <td>759,559件</td> <td>22,786,777千円</td> <td>△14,786件</td> <td>△443,592千円</td> </tr> <tr> <td>介護扶助</td> <td>177,815件</td> <td>1,173,584千円</td> <td>165,688件</td> <td>1,093,545千円</td> <td>△12,127件</td> <td>△80,039千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>952,160件</td> <td>24,403,953千円</td> <td>925,247件</td> <td>23,880,322千円</td> <td>△26,913件</td> <td>△523,631千円</td> </tr> </tbody> </table>		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)		件数	金額	件数	金額	件数	金額	医療扶助	774,345件	23,230,369千円	759,559件	22,786,777千円	△14,786件	△443,592千円	介護扶助	177,815件	1,173,584千円	165,688件	1,093,545千円	△12,127件	△80,039千円	合計	952,160件	24,403,953千円	925,247件	23,880,322千円	△26,913件	△523,631千円
						予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)																												
件数	金額	件数	金額		件数	金額																																
医療扶助	774,345件	23,230,369千円	759,559件	22,786,777千円	△14,786件	△443,592千円																																
介護扶助	177,815件	1,173,584千円	165,688件	1,093,545千円	△12,127件	△80,039千円																																
合計	952,160件	24,403,953千円	925,247件	23,880,322千円	△26,913件	△523,631千円																																
2 令和4年度生活保護費の国庫負担金精算に伴う国への返還金 1,499,456千円																																						
2 私立保育園の運営費助成事業	655,173	2 私立認可保育所の運営費の増 532,376千円(17,954,363→18,486,739) 私立認可保育所運営費に係る国の公定価格が11月に4.3%増の改定となった。改定は令和5年4月に遡及適用し、運営費を支給するため、全113園分の運営費が増額となる。	2 令和4年度国・都補助金精算に伴う返還金 121,127千円																																			
			3 消費税仕入税額控除に伴い保育事業者から区へ補助金の返還があったため、国及び都へ補助金を返還するための増 1,670千円																																			
3 障がい者自立支援給付費支給事業	375,667	1 障がい者自立支援給付費(身体障がい・知的障がい)の増 252,283千円(16,980,448→17,232,731) (1)障害福祉サービス利用増による介護給付費・訓練等給付費の利用実績見込の増 146,923千円 (2)放課後等デイサービス利用増等による障害児通所給付費の利用実績見込の増 105,360千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護給付費・訓練等給付費</td> <td>91,020件</td> <td>14,153,369千円</td> <td>92,106件</td> <td>14,300,292千円</td> <td>1,086件</td> <td>146,923千円</td> </tr> <tr> <td>障害児通所給付費</td> <td>31,548件</td> <td>2,827,079千円</td> <td>32,066件</td> <td>2,932,439千円</td> <td>518件</td> <td>105,360千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>122,568件</td> <td>16,980,448千円</td> <td>124,172件</td> <td>17,232,731千円</td> <td>1,604件</td> <td>252,283千円</td> </tr> </tbody> </table>		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)		件数	金額	件数	金額	件数	金額	介護給付費・訓練等給付費	91,020件	14,153,369千円	92,106件	14,300,292千円	1,086件	146,923千円	障害児通所給付費	31,548件	2,827,079千円	32,066件	2,932,439千円	518件	105,360千円	合計	122,568件	16,980,448千円	124,172件	17,232,731千円	1,604件	252,283千円	
					予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)																													
				件数	金額	件数	金額	件数	金額																													
介護給付費・訓練等給付費	91,020件	14,153,369千円	92,106件	14,300,292千円	1,086件	146,923千円																																
障害児通所給付費	31,548件	2,827,079千円	32,066件	2,932,439千円	518件	105,360千円																																
合計	122,568件	16,980,448千円	124,172件	17,232,731千円	1,604件	252,283千円																																
2 令和4年度障害者医療費・障害児入所給付費の国庫負担金精算に伴う国への返還金 77,733千円																																						
3 令和4年度障害者医療費・障害児入所給付費の都負担金精算に伴う都への返還金 45,651千円																																						

款別	補正額	事業名	金額	計上概要																																		
(民生費)		4 児童扶養手当等の支給事業	△535,163	1 児童扶養手当支給人数の実績見込に基づく減 △536,473千円(3,087,015→2,550,542) 支給延べ人数:当初見込109,215人 → 実績見込90,494人 差引△18,721人 2 通知用郵送料等の実績見込に基づく減 △1,595千円(10,225→8,630) 郵送件数:当初見込79,576通 → 実績見込65,140通 差引△14,436通 3 児童扶養手当等現況届の処理に係る人材派遣利用時間の実績見込に基づく減 △1,397千円(5,768→4,371) 人材派遣延べ時間数:当初見込2,640時間 → 1,980時間 差引△660時間 4 令和4年度児童扶養手当等の国庫負担金・都補助金の精算に伴う国・都への返還金 4,302千円																																		
		5 児童手当の支給事業	△501,889	1 児童手当支給人数の実績見込に基づく減 △500,000千円(9,480,000→8,980,000) 支給延べ人数:当初見込875,000人 → 実績見込835,000人 差引△40,000人 2 封入封緘委託等の実績見込に基づく減 △1,889千円(7,758→5,869) 封入封緘委託件数:当初見込151,000件 → 120,000件 差引△31,000件																																		
産業経済費	△1,583,749	1 中小企業融資事業	△780,173	1 中小企業融資あつ旋に係る信用保証料補助及び利子補給の減 △780,000千円(2,814,100→2,034,100) 令和4年8月に緊急経営資金の融資限度額の拡充(1,000万円→2,000万円)を実施したため、令和5年度も引き続き信用保証料補助や利子補給の増額を想定していたが、あつせん件数や信用保証料の補助額が想定より伸びなかった。 <table border="1" data-bbox="954 1007 2136 1209"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信用保証料補助</td> <td>5,210件</td> <td>1,247,900千円</td> <td>4,050件</td> <td>809,205千円</td> <td>△1,160件</td> <td>△438,695千円</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td>29,880件</td> <td>1,566,200千円</td> <td>26,200件</td> <td>1,224,895千円</td> <td>△3,680件</td> <td>△341,305千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35,090件</td> <td>2,814,100千円</td> <td>30,250件</td> <td>2,034,100千円</td> <td>△4,840件</td> <td>△780,000千円</td> </tr> </tbody> </table> 2 事務用消耗品の実績に基づく減 △173千円(225→52)		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)		件数	金額	件数	金額	件数	金額	信用保証料補助	5,210件	1,247,900千円	4,050件	809,205千円	△1,160件	△438,695千円	利子補給	29,880件	1,566,200千円	26,200件	1,224,895千円	△3,680件	△341,305千円	合計	35,090件	2,814,100千円	30,250件	2,034,100千円	△4,840件	△780,000千円
	予算現額(A)		決算見込額(B)			補正予算額(B-A)																																
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																
信用保証料補助	5,210件	1,247,900千円	4,050件	809,205千円	△1,160件	△438,695千円																																
利子補給	29,880件	1,566,200千円	26,200件	1,224,895千円	△3,680件	△341,305千円																																
合計	35,090件	2,814,100千円	30,250件	2,034,100千円	△4,840件	△780,000千円																																

款別	補正額	事業名	金額	計上概要																																																
(産業経済費)				<p>1 各種商店街イベント等に対する補助金の減 △14,138千円(42,846→28,708) 商店街の解散や店舗の減少によりイベント申請件数が減少した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商店街通常イベント</td> <td>54件</td> <td>28,280千円</td> <td>39件</td> <td>19,502千円</td> <td>△15件</td> <td>△8,778千円</td> </tr> <tr> <td>区連携イベント</td> <td>12件</td> <td>6,560千円</td> <td>11件</td> <td>5,559千円</td> <td>△1件</td> <td>△1,001千円</td> </tr> <tr> <td>地域連携イベント</td> <td>3件</td> <td>7,006千円</td> <td>1件</td> <td>3,000千円</td> <td>△2件</td> <td>△4,006千円</td> </tr> <tr> <td>イメージアップ事業</td> <td>6件</td> <td>1,000千円</td> <td>4件</td> <td>647千円</td> <td>△2件</td> <td>△353千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>75件</td> <td>42,846千円</td> <td>55件</td> <td>28,708千円</td> <td>△20件</td> <td>△14,138千円</td> </tr> </tbody> </table>		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)		件数	金額	件数	金額	件数	金額	商店街通常イベント	54件	28,280千円	39件	19,502千円	△15件	△8,778千円	区連携イベント	12件	6,560千円	11件	5,559千円	△1件	△1,001千円	地域連携イベント	3件	7,006千円	1件	3,000千円	△2件	△4,006千円	イメージアップ事業	6件	1,000千円	4件	647千円	△2件	△353千円	合計	75件	42,846千円	55件	28,708千円	△20件	△14,138千円
	予算現額(A)		決算見込額(B)			補正予算額(B-A)																																														
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																														
商店街通常イベント	54件	28,280千円	39件	19,502千円	△15件	△8,778千円																																														
区連携イベント	12件	6,560千円	11件	5,559千円	△1件	△1,001千円																																														
地域連携イベント	3件	7,006千円	1件	3,000千円	△2件	△4,006千円																																														
イメージアップ事業	6件	1,000千円	4件	647千円	△2件	△353千円																																														
合計	75件	42,846千円	55件	28,708千円	△20件	△14,138千円																																														
		2 商店街活動支援事業	△659,847	<p>2 商店街振興組合運営補助の申請実績(18組合→17組合)に基づく減 △60千円(1,080→1,020)</p> <p>3 第2回[㊦]レシートde90周年事業運営業務委託の契約差金による減 △1,459千円(284,867→283,408)</p> <p>4 キャッシュレス決済還元事業に係る経費の減 △643,186千円(2,004,271→1,361,085) 大手ドラッグストアを対象外としたことによる決済回数の減少(令和4年度:215万回→令和5年度:157万回 差引△58万回)等により、ポイント付与にかかる負担金が想定額を大きく下回った。 (1)ポイント付与に係る負担金 △617,000千円(1,917,000→1,300,000) [参考]期間中の決済総額5,321,582千円【速報値】(令和4年度実績7,601,542千円) (2)事務委託費のポイント還元実績額に基づく減 △20,361千円(77,271→56,910) (3)サポート窓口業務委託の契約差金による減 △5,825千円(10,000→4,175)</p> <p>5 輝くお店セレクション事業に係る冊子作成費等事務経費の実績に基づく減 △969千円(3,181→2,212)</p> <p>6 にぎわい創出事業及び商店街向け講演会に伴う報償費の減 △35千円(42→7) にぎわい創出事業審査会の開催を2回から1回にしたこと、商店街からの講演会開催意向がなかったため未実施となったことにより減となった。</p>																																																

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
環境衛生費	△3,484,754			<p>1 庁舎ホールでの集団接種運営に係る委託料の減 △646,606千円(940,106→293,500) 集団接種は当初(春)6～8月及び(秋)10～12月の実施を予定していたが、個別接種中心の体制とし、6月及び10月のみの実施とした。このため、未実施となった4か月分の集団接種運営に係る委託料に不用額が生じた。</p> <p>2 新型コロナウイルスワクチン接種事業委託の実績見込に基づく減 △95,442千円(606,837→511,395) (1) 国からの通知が遅れたため、一部説明文書作成を取りやめたこと等による接種券印刷・郵送業務経費の減 △8,061千円 (2) 入電想定数に応じてコールセンター回線数を減らしたことによるコールセンター業務経費の減 △76,215千円(35回線～5回線の間で調整) (3) 接種回数制御等のカスタマイズ実施による予約システム保守・運用業務経費の増 338千円 (4) 業務量を精査し、土日祝日のヘルプデスク設置を取りやめたことによるヘルプデスク業務経費の減 △2,827千円 (5) 各業務経費の減に伴う全体管理費の減 △8,677千円</p> <p>3 個別接種委託料の実績見込に基づく減 △518,451千円(1,375,917→857,466) 当初見込よりも接種者数が伸びなかったため以下の実績見込となった。 春接種:当初見込112,500人(5～11歳含む) → 実績見込 93,849人 差引 △18,651人 秋接種:当初見込372,000人 → 実績見込 211,303人 差引△160,697人</p> <p>4 個別接種に係る足立区医師会及び医療機関へのワクチン管理料の支払実績見込に基づく減 △39,751千円(157,133→117,382) 総個別接種数:当初見込381,600回 → 実績見込305,152回 差引△76,448回</p> <p>5 足立区医師会集団接種委託の実績見込に基づく減 △15,421千円(25,659→10,238) 当初、土曜、日曜の両日の実施を見込んでいたが、接種需要に応じ日曜のみの実施とした。 実施見込日数及び予約システム枠数(40日 12,068枠)</p> <p>6 医療機関支援補助金の実績見込に基づく減 △43,820千円(202,820→159,000) 当初見込よりも接種数が伸びなかったため以下の実績見込となった。 当初見込101,410回 → 実績見込79,500回 差引△21,910回 ※ 週100回以上の接種を4週以上実施等の要件を満たした医療機関に対し、1回あたり2千円を補助する制度</p> <p>7 ワクチンダイヤルのフリーダイヤル利用料(△9,364千円)及び郵送料(△16,248千円)の実績見込に基づく減 △25,612千円(83,807→58,195)</p>
		1 新型コロナウイルスワクチン接種事業	△1,385,222	

款 別	補正額	事 業 名	金 額	計 上 概 要
(環境衛生費)		(新型コロナウイルスワクチン接種事業)		<p>8 事務用消耗品、職員時間外勤務手当等経費の実績見込に基づく減 △4,749千円(6,649→1,900)</p> <p>9 ディープフリーザー処分委託等の増 4,630千円 特例臨時接種終了に伴い国から提供を受けているディープフリーザー及び未使用のワクチン、針、シリンジ等は、事業終了後に自治体の規程に基づき廃棄処分等を行うことと示された。なお下記記載の処分経費は、国から全額補助される。 (1)ディープフリーザー処分費 693千円(@10千円×63台×1.1) (2)ディープフリーザー収集運搬費 495千円(@10千円×45か所×1.1) (3)ディープフリーザーフロン回収経費 2,026千円 (ファイザー用:@96.4千円×16台×1.1)+(モデルナ用:@15千円×20台×1.1) (4)未使用ワクチン、針、シリンジ廃棄処分費 1,416千円</p>

款別	補正額	事業名	金額	計上概要																																														
(環境衛生費)				<p>1 小児定期接種費用の実績見込に基づく減 △1,073,700千円(2,906,297→1,832,597) 令和5年度、新たに9価HPV定期接種を開始したことにより、接種件数の増を見込んだ。しかし、安全性に対する様子見のため予想よりも接種件数が伸び悩んだこと、1回目を接種するときの年齢によって、当初3回接種のところ2回接種でも可能となったことにより、接種件数の減となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th>件数 接種率</th> <th>金額</th> <th>件数 接種率</th> <th>金額</th> <th>件数 接種率</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">【小児】 定期</td> <td>【定期接種】 21,060件 接種率65%</td> <td rowspan="2">2,906,297 千円</td> <td>【定期接種】 7,500件 接種率23%</td> <td rowspan="2">1,832,597 千円</td> <td>【定期接種】 △13,560件 △42ポイント</td> <td rowspan="2">△1,073,700 千円</td> </tr> <tr> <td>【キャッチアップ接種】 26,730件 接種率30%</td> <td>【キャッチアップ接種】 4,500件 接種率5%</td> <td>【キャッチアップ接種】 △22,230件 △25ポイント</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 風しん第5期予防接種費用の実績見込に基づく減 △28,296千円(70,946→42,650) 昭和54年4月1日以前に生まれた方について、予防接種法に基づく風しんワクチンの定期接種を受ける機会があったのは女性のみであった。令和元年度より、定期接種の機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対し、毎年ハガキ等を送ることで接種勧奨している。風しんの流行は突然やってくることや過去の接種状況から予算を積算したが、コロナ禍の影響や検査・結果説明・ワクチン接種で2～3回病院受診しないといけないことも働く世代の足かせとなり接種件数が伸び悩んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th>件数 接種率</th> <th>金額</th> <th>件数 接種率</th> <th>金額</th> <th>件数 接種率</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">【大人】 風しん第5期</td> <td>【抗体検査】 5,500件 受診率8%</td> <td rowspan="2">70,946千円</td> <td>【抗体検査】 3,000件 受診率4.5%</td> <td rowspan="2">42,650千円</td> <td>【抗体検査】 △2,500件 △3.5ポイント</td> <td rowspan="2">△28,296千円</td> </tr> <tr> <td>【接種】 1,900件 接種率35%</td> <td>【接種】 690件 接種率23%</td> <td>【接種】 △1,210件 △12ポイント</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 里帰りによる予防接種補助の実績見込に基づく減 △4,297千円(21,679→17,382) 出生数の減(令和3年度4,144人→令和4年度3,946人 差引△198人)及びコロナ禍の影響による里帰り件数減に伴い、23区外接種件数が減となった。 当初見込1,663件 → 実績見込1,160件 差引△503件</p> <p>4 令和4年度感染症予防事業費等の国庫負担金・補助金精算に伴う国への返還金 5,261千円</p> <p>5 令和4年度医療保健政策区市町村包括補助事業の都補助金精算に伴う都への返還金1,055千円</p>		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)		件数 接種率	金額	件数 接種率	金額	件数 接種率	金額	【小児】 定期	【定期接種】 21,060件 接種率65%	2,906,297 千円	【定期接種】 7,500件 接種率23%	1,832,597 千円	【定期接種】 △13,560件 △42ポイント	△1,073,700 千円	【キャッチアップ接種】 26,730件 接種率30%	【キャッチアップ接種】 4,500件 接種率5%	【キャッチアップ接種】 △22,230件 △25ポイント		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)		件数 接種率	金額	件数 接種率	金額	件数 接種率	金額	【大人】 風しん第5期	【抗体検査】 5,500件 受診率8%	70,946千円	【抗体検査】 3,000件 受診率4.5%	42,650千円	【抗体検査】 △2,500件 △3.5ポイント	△28,296千円	【接種】 1,900件 接種率35%	【接種】 690件 接種率23%	【接種】 △1,210件 △12ポイント
	予算現額(A)		決算見込額(B)			補正予算額(B-A)																																												
	件数 接種率	金額	件数 接種率	金額	件数 接種率	金額																																												
【小児】 定期	【定期接種】 21,060件 接種率65%	2,906,297 千円	【定期接種】 7,500件 接種率23%	1,832,597 千円	【定期接種】 △13,560件 △42ポイント	△1,073,700 千円																																												
	【キャッチアップ接種】 26,730件 接種率30%		【キャッチアップ接種】 4,500件 接種率5%		【キャッチアップ接種】 △22,230件 △25ポイント																																													
	予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)																																													
	件数 接種率	金額	件数 接種率	金額	件数 接種率	金額																																												
【大人】 風しん第5期	【抗体検査】 5,500件 受診率8%	70,946千円	【抗体検査】 3,000件 受診率4.5%	42,650千円	【抗体検査】 △2,500件 △3.5ポイント	△28,296千円																																												
	【接種】 1,900件 接種率35%		【接種】 690件 接種率23%		【接種】 △1,210件 △12ポイント																																													
		2 予防接種事業	△1,099,977																																															

款別	補正額	事業名	金額	計上概要																																		
(環境衛生費)				<p>1 出産・子育て応援ギフト事業委託の実績見込に基づく減 △264,000千円(900,000→636,000) 出産・子育て応援ギフトとして妊娠届出時に5万円、出産時に10万円のギフトカードを配付しているが、令和4年度分(経過措置分)利用期限が延長(令和5年9月末→令和6年9月末)されたことにより今年度の支出額が見込を下回った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度分</td> <td>8,600件</td> <td>430,000千円</td> <td>7,900件</td> <td>386,000千円</td> <td>△700件</td> <td>△44,000千円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度分</td> <td>9,400件</td> <td>470,000千円</td> <td>8,600件</td> <td>250,000千円</td> <td>△800件</td> <td>△220,000千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18,000件</td> <td>900,000千円</td> <td>16,500件</td> <td>636,000千円</td> <td>△1,500件</td> <td>△264,000千円</td> </tr> </tbody> </table>		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)		件数	金額	件数	金額	件数	金額	令和4年度分	8,600件	430,000千円	7,900件	386,000千円	△700件	△44,000千円	令和5年度分	9,400件	470,000千円	8,600件	250,000千円	△800件	△220,000千円	合計	18,000件	900,000千円	16,500件	636,000千円	△1,500件	△264,000千円
	予算現額(A)		決算見込額(B)			補正予算額(B-A)																																
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																
令和4年度分	8,600件	430,000千円	7,900件	386,000千円	△700件	△44,000千円																																
令和5年度分	9,400件	470,000千円	8,600件	250,000千円	△800件	△220,000千円																																
合計	18,000件	900,000千円	16,500件	636,000千円	△1,500件	△264,000千円																																
		3 妊産婦・乳幼児相談事業	△273,450	<p>2 東京都出産応援ギフトカード(旧赤ちゃんファースト)郵送料の実績見込に基づく減 △2,070千円(13,277→11,207) 東京都出産応援ギフトカードとして都の事業を実施していたが、令和5年度から出産・子育て応援ギフト(国の事業)を開始した。これにより、国の事業に都の事業分を上乗せして実施することにより都の事業分の通信運搬費が減となった。 当初見込4,420件 → 実績見込368件 差引△4,052件</p> <p>3 こども商品券購入等の実績見込に基づく減 △8,180千円(126,334→118,154) こども商品券は、妊娠届出時に実施するスマイルママ面接、1歳時に送付するファーストバースデーサポート、多胎児移動支援で配付しているが、出生数の減(令和3年度4,144人→令和4年度3,946人 差引△198人)により想定件数を下回った。 当初見込9,556件 → 実績見込8,974件 差引△582件</p> <p>4 産後ケア事業(宿泊型)の実績見込に基づく委託料の減 △12,124千円(55,685→43,561) 産後の母親の心と身体の休憩や赤ちゃんの適切なケア、育児等のサポートを目的に、産後4か月未満の赤ちゃんとその母親を対象に産後ケア事業を実施しているが、出生数の減(令和3年度4,144人→令和4年度3,946人 差引△198人)及び1人当たりの利用日数(最大6泊7日)が想定を下回った。 当初見込2,345件 → 実績見込1,870件 差引△475件</p> <p>5 こんにちは赤ちゃん訪問事業の実績見込に基づく委託料の減 △1,173千円(22,184→21,011) 生後3か月以内の赤ちゃんとその母親を対象に、保健師等が自宅を訪問し、発育状況や健康状態等の相談を受けているが、出生数の減(令和3年度4,144人→令和4年度3,946人 差引△198人)により想定訪問件数を下回った。 当初見込3,655件 → 実績見込3,472件 差引△183件</p>																																		

款別	補正額	事業名	金額	計上概要																																																
(環境衛生費)		(妊産婦・乳幼児相談事業)		<p>6 こんにちは赤ちゃん訪問事業研修講師及び医療通訳者派遣に伴う報償費の実績見込に基づく減 △59千円(271→212)</p> <p>(1) こんにちは赤ちゃん訪問事業研修講師 △27千円 当初見込2回 → 実績見込1回 差引△1回 当初予定通り研修は2回実施したが、うち1回は職員が講師を務めた。</p> <p>(2) 医療通訳者派遣 △32千円 当初見込6回 → 実績見込3回 差引△3回</p> <p>7 令和4年度母子保健衛生費国庫補助金等の国庫補助金精算に伴う国への返還金 4,244千円</p> <p>8 令和4年度とうきょうママパパ応援事業補助金等の都補助金精算に伴う都への返還金 9,912千円</p>																																																
		4 精神障がい者自立支援給付費支給事業	△252,409	<p>1 障がい者自立支援給付費(精神障がい)の実績見込に基づく減 △252,409千円(2,913,533→2,661,124)</p> <p>コロナが5類に移行したため自立支援給付費サービスの需要が高まると想定していたが、利用件数は当初見込より実績見込が減となった。 当初見込38,774件 → 実績見込35,969件 差引△2,805件 ※ 自立支援給付費は事業全体として年々増加している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護給付費</td> <td>8,470件</td> <td>196,405千円</td> <td>7,250件</td> <td>213,942千円</td> <td>△1,220件</td> <td>※1 17,537千円</td> </tr> <tr> <td>訓練等給付費</td> <td>19,196件</td> <td>2,397,695千円</td> <td>20,672件</td> <td>2,216,778千円</td> <td>1,476件</td> <td>※2 △180,917千円</td> </tr> <tr> <td>計画相談支援等</td> <td>8,020件</td> <td>163,401千円</td> <td>5,471件</td> <td>103,873千円</td> <td>△2,549件</td> <td>△59,528千円</td> </tr> <tr> <td>都加算(施設入所・共同生活援助)</td> <td>3,088件</td> <td>156,032千円</td> <td>2,576件</td> <td>126,531千円</td> <td>△512件</td> <td>△29,501千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38,774件</td> <td>2,913,533千円</td> <td>35,969件</td> <td>2,661,124千円</td> <td>△2,805件</td> <td>△252,409千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 介護給付費補正額が件数減だが増額となったのは、単価の低い居宅介護(ホームヘルプサービス)の件数が減少(△1,491件)となった一方で、単価の高い生活介護(施設入所・通所)の件数が増加(+312件)したため。</p> <p>※2 訓練等給付費補正額が件数増だが減額となったのは、共同生活援助と就労移行支援の件数が減少(△1,637件)した一方、就労継続支援B型(施設通所)について、前年度分請求漏れ(大半が僅少な金額)による申請件数の増加(+3,562件)が主な理由である。</p>		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)		件数	金額	件数	金額	件数	金額	介護給付費	8,470件	196,405千円	7,250件	213,942千円	△1,220件	※1 17,537千円	訓練等給付費	19,196件	2,397,695千円	20,672件	2,216,778千円	1,476件	※2 △180,917千円	計画相談支援等	8,020件	163,401千円	5,471件	103,873千円	△2,549件	△59,528千円	都加算(施設入所・共同生活援助)	3,088件	156,032千円	2,576件	126,531千円	△512件	△29,501千円	合計	38,774件	2,913,533千円	35,969件	2,661,124千円	△2,805件	△252,409千円
	予算現額(A)		決算見込額(B)			補正予算額(B-A)																																														
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																														
介護給付費	8,470件	196,405千円	7,250件	213,942千円	△1,220件	※1 17,537千円																																														
訓練等給付費	19,196件	2,397,695千円	20,672件	2,216,778千円	1,476件	※2 △180,917千円																																														
計画相談支援等	8,020件	163,401千円	5,471件	103,873千円	△2,549件	△59,528千円																																														
都加算(施設入所・共同生活援助)	3,088件	156,032千円	2,576件	126,531千円	△512件	△29,501千円																																														
合計	38,774件	2,913,533千円	35,969件	2,661,124千円	△2,805件	△252,409千円																																														

款別	補正額	事業名	金額	計上概要																																																																												
(環境衛生費)				<p>1 妊婦健康診査等の実績見込に基づく減 △26,346千円(332,146→305,800) 妊婦届出数の減に伴い、妊婦健康診査等の受診回数が減となった。 妊婦届出数:令和3年度4,496件 → 令和4年度4,350件 差引△146件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">妊婦健診</td> <td>1回目</td> <td>4,400件</td> <td>47,740千円</td> <td>3,783件</td> <td>41,159千円</td> <td>△617件</td> <td>△6,581千円</td> </tr> <tr> <td>2～14回目</td> <td>43,730件</td> <td>221,711千円</td> <td>40,224件</td> <td>204,740千円</td> <td>△3,506件</td> <td>△16,971千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">妊婦超音波検査</td> <td>7,400件</td> <td>39,220千円</td> <td>7,266件</td> <td>38,510千円</td> <td>△134件</td> <td>△710千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">子宮頸がん検査</td> <td>4,200件</td> <td>14,280千円</td> <td>3,712件</td> <td>12,621千円</td> <td>△488件</td> <td>△1,659千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">医師会事務費</td> <td>51,600件</td> <td>4,283千円</td> <td>50,617件</td> <td>4,201千円</td> <td>△983件</td> <td>△82千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">国保連事務費</td> <td>58,810件</td> <td>4,912千円</td> <td>54,709件</td> <td>4,569千円</td> <td>△4,101件</td> <td>△343千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>—</td> <td>332,146千円</td> <td>—</td> <td>305,800千円</td> <td>—</td> <td>△26,346千円</td> </tr> </tbody> </table>								予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)				件数	金額	件数	金額	件数	金額	妊婦健診	1回目	4,400件	47,740千円	3,783件	41,159千円	△617件	△6,581千円	2～14回目	43,730件	221,711千円	40,224件	204,740千円	△3,506件	△16,971千円	妊婦超音波検査		7,400件	39,220千円	7,266件	38,510千円	△134件	△710千円	子宮頸がん検査		4,200件	14,280千円	3,712件	12,621千円	△488件	△1,659千円	医師会事務費		51,600件	4,283千円	50,617件	4,201千円	△983件	△82千円	国保連事務費		58,810件	4,912千円	54,709件	4,569千円	△4,101件	△343千円	合計		—	332,146千円	—	305,800千円	—	△26,346千円
		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)																																																																										
		件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																									
妊婦健診	1回目	4,400件	47,740千円	3,783件	41,159千円	△617件	△6,581千円																																																																									
	2～14回目	43,730件	221,711千円	40,224件	204,740千円	△3,506件	△16,971千円																																																																									
妊婦超音波検査		7,400件	39,220千円	7,266件	38,510千円	△134件	△710千円																																																																									
子宮頸がん検査		4,200件	14,280千円	3,712件	12,621千円	△488件	△1,659千円																																																																									
医師会事務費		51,600件	4,283千円	50,617件	4,201千円	△983件	△82千円																																																																									
国保連事務費		58,810件	4,912千円	54,709件	4,569千円	△4,101件	△343千円																																																																									
合計		—	332,146千円	—	305,800千円	—	△26,346千円																																																																									
		5 妊婦健康診査事業	△100,083	<p>2 里帰り出産等費用助成の実績に基づく減 △6,858千円(41,251→34,393) 妊婦届出数の減(令和3年度4,496件→令和4年度4,350件 差引△146件)及びコロナ禍の影響による里帰り件数減に伴い、23区外出産等費用助成件数が減となった。 当初見込7,740件 → 実績見込7,000件 差引△740件</p> <p>3 特定不妊治療助成の実績見込に基づく減 △66,879千円(79,200→12,321) 令和4年度から特定不妊治療費は保険適用となった。令和5年1月から東京都による先進医療分の助成を開始したことに伴い、区でも令和5年1月から助成を開始した。今後、更なる申請者が増えることを見込み、東京都の予算や過去の特定不妊治療費助成件数から当初予算を見込んだものの特定不妊治療実施者のうち先進医療を実施する方の割合が不明であったため件数の予想がつかず見込件数を下回った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">予算現額(A)</th> <th colspan="2">決算見込額(B)</th> <th colspan="2">補正予算額(B-A)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">治療ステージABDE 【上限50千円】</td> <td>398件</td> <td>19,900千円</td> <td>117件</td> <td>3,573千円</td> <td>△281件</td> <td>△16,327千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">治療ステージCF 【上限25千円】</td> <td>162件</td> <td>4,050千円</td> <td>105件</td> <td>1,601千円</td> <td>△57件</td> <td>△2,449千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">男性不妊 【上限50千円】</td> <td>5件</td> <td>250千円</td> <td>0件</td> <td>0千円</td> <td>△5件</td> <td>△250千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">先進医療 【上限50千円】</td> <td>1,100件</td> <td>55,000千円</td> <td>232件</td> <td>7,147千円</td> <td>△868件</td> <td>△47,853千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>1,665件</td> <td>79,200千円</td> <td>454件</td> <td>12,321千円</td> <td>△1,211件</td> <td>△66,879千円</td> </tr> </tbody> </table>								予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)				件数	金額	件数	金額	件数	金額	治療ステージABDE 【上限50千円】		398件	19,900千円	117件	3,573千円	△281件	△16,327千円	治療ステージCF 【上限25千円】		162件	4,050千円	105件	1,601千円	△57件	△2,449千円	男性不妊 【上限50千円】		5件	250千円	0件	0千円	△5件	△250千円	先進医療 【上限50千円】		1,100件	55,000千円	232件	7,147千円	△868件	△47,853千円	合計		1,665件	79,200千円	454件	12,321千円	△1,211件	△66,879千円															
		予算現額(A)		決算見込額(B)		補正予算額(B-A)																																																																										
		件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																									
治療ステージABDE 【上限50千円】		398件	19,900千円	117件	3,573千円	△281件	△16,327千円																																																																									
治療ステージCF 【上限25千円】		162件	4,050千円	105件	1,601千円	△57件	△2,449千円																																																																									
男性不妊 【上限50千円】		5件	250千円	0件	0千円	△5件	△250千円																																																																									
先進医療 【上限50千円】		1,100件	55,000千円	232件	7,147千円	△868件	△47,853千円																																																																									
合計		1,665件	79,200千円	454件	12,321千円	△1,211件	△66,879千円																																																																									

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
土木費	△1,871,002	1 道路の新設事業	△402,959	<p>1 補助第138号線興野地区用地測量委託の契約差金による減 △2,400千円(12,000→9,600)</p> <p>2 区画街路第9号線道路等詳細設計委託費の皆減 △20,700千円(20,700→0) 西新井駅西口南地区市街地再開発や駅舎の改良と整合をとった計画とすることから、詳細設計委託を見送った。</p> <p>3 補助第138号線興野地区道路及び電線共同溝等基本設計委託費が確定したことによる減 △1,500千円(26,600→25,100)</p> <p>4 補助第256号線整備事業用地補償費の実績見込に基づく減 △275,299千円(1,275,299→1,000,000) 事業中路線の事業用地購入(補償費含む)について、権利者と用地買収交渉を続けているが、令和5年度中の契約に至らなかった。当初見込17件 → 実績見込11件 差引△6件</p> <p>5 補助第138号線その2工区引込・連系管工事負担金(東京電力)の見込額が判明したことによる減 △36,500千円(87,000→50,500)</p> <p>6 区画街路第14号線排水施設等整備工事等に伴う家屋補償負担金の実績見込に基づく減 △3,160千円(5,000→1,840)</p>

款別	補正額	事業名	金額	計上概要																																																																																																																							
(土木費)		(道路の新設事業)		<p>7 北綾瀬駅前交通広場整備事業に係る工事費及び負担金の減 △63,400千円 三井不動産商業施設の開業時期(令和7年夏)に合わせて、北綾瀬駅前交通広場整備工事の工程を調整した結果、以下の表のとおり、各年度の負担額を変更する。 については、債務負担行為を設定するとともに、令和5年度不用となる予算を減額する。なお、合計金額に変更はない。</p> <p style="text-align: right;">千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>件名</th> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>小計</th> <th>今回の補正予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">交通広場及びペデストリアンデッキ整備工事</td> <td>変更前</td> <td>400,000</td> <td>0</td> <td>1,090,000</td> <td>-</td> <td>1,490,000</td> <td rowspan="2">債務負担行為設定</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>400,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,090,000</td> <td>1,490,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ペデストリアンデッキ整備工事施工監理委託</td> <td>変更前</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>40,000</td> <td>-</td> <td>40,000</td> <td rowspan="2">債務負担行為設定</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>40,000</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ペデストリアンデッキ整備負担金(東京メトロ)</td> <td>変更前</td> <td>20,000</td> <td>28,000</td> <td>42,000</td> <td>-</td> <td>90,000</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>20,000</td> <td>28,000</td> <td>42,000</td> <td>-</td> <td>90,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">交通広場整備に伴う民間区画整理施行者負担金</td> <td>変更前</td> <td>0</td> <td>※1 65,000</td> <td>43,000</td> <td>-</td> <td>108,000</td> <td rowspan="2">債務負担行為設定 令和5年度予算の減額△13,000</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>0</td> <td>52,000</td> <td>0</td> <td>32,000</td> <td>84,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">交通広場整備に伴う環状七号線改修工事</td> <td>変更前</td> <td>0</td> <td>※2 50,400</td> <td>75,600</td> <td>-</td> <td>126,000</td> <td rowspan="2">債務負担行為設定 令和5年度予算の減額△50,400</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>150,000</td> <td>250,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">交通広場整備に伴う環状七号線埋設企業者負担金</td> <td>変更前</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>-</td> <td>100,000</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>変更前</td> <td>1,954,000</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>変更後</td> <td>1,954,000</td> </tr> </tbody> </table>				件名		R4	R5	R6	R7	小計	今回の補正予算	交通広場及びペデストリアンデッキ整備工事	変更前	400,000	0	1,090,000	-	1,490,000	債務負担行為設定	変更後	400,000	0	0	1,090,000	1,490,000	ペデストリアンデッキ整備工事施工監理委託	変更前	0	0	40,000	-	40,000	債務負担行為設定	変更後	0	0	0	40,000	40,000	ペデストリアンデッキ整備負担金(東京メトロ)	変更前	20,000	28,000	42,000	-	90,000		変更後	20,000	28,000	42,000	-	90,000	交通広場整備に伴う民間区画整理施行者負担金	変更前	0	※1 65,000	43,000	-	108,000	債務負担行為設定 令和5年度予算の減額△13,000	変更後	0	52,000	0	32,000	84,000	交通広場整備に伴う環状七号線改修工事	変更前	0	※2 50,400	75,600	-	126,000	債務負担行為設定 令和5年度予算の減額△50,400	変更後	0	0	100,000	150,000	250,000	交通広場整備に伴う環状七号線埋設企業者負担金	変更前	0	0	100,000	-	100,000		変更後	0	0	0	0	0							合計								変更前	1,954,000							変更後	1,954,000
件名		R4	R5	R6	R7	小計	今回の補正予算																																																																																																																				
交通広場及びペデストリアンデッキ整備工事	変更前	400,000	0	1,090,000	-	1,490,000	債務負担行為設定																																																																																																																				
	変更後	400,000	0	0	1,090,000	1,490,000																																																																																																																					
ペデストリアンデッキ整備工事施工監理委託	変更前	0	0	40,000	-	40,000	債務負担行為設定																																																																																																																				
	変更後	0	0	0	40,000	40,000																																																																																																																					
ペデストリアンデッキ整備負担金(東京メトロ)	変更前	20,000	28,000	42,000	-	90,000																																																																																																																					
	変更後	20,000	28,000	42,000	-	90,000																																																																																																																					
交通広場整備に伴う民間区画整理施行者負担金	変更前	0	※1 65,000	43,000	-	108,000	債務負担行為設定 令和5年度予算の減額△13,000																																																																																																																				
	変更後	0	52,000	0	32,000	84,000																																																																																																																					
交通広場整備に伴う環状七号線改修工事	変更前	0	※2 50,400	75,600	-	126,000	債務負担行為設定 令和5年度予算の減額△50,400																																																																																																																				
	変更後	0	0	100,000	150,000	250,000																																																																																																																					
交通広場整備に伴う環状七号線埋設企業者負担金	変更前	0	0	100,000	-	100,000																																																																																																																					
	変更後	0	0	0	0	0																																																																																																																					
						合計																																																																																																																					
						変更前	1,954,000																																																																																																																				
						変更後	1,954,000																																																																																																																				
				<p>※1 交通広場整備に伴う民間区画整理施行者へ負担金の減 △13,000千円 ※2 交通広場整備に伴う環状七号線改修工事費の減 △50,400千円</p>																																																																																																																							

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
(土木費)				<p>1 橋りょう定期点検委託費(16か所分)の契約差金等の減 △18,000千円(40,000→22,000)</p> <p>2 橋りょう補修設計委託費の皆減 △20,000千円(20,000→0) 東京都が綾瀬新橋の架け替えに着手したことにより、補修工事の必要がなくなった。</p> <p>3 五反野ふれあい通り道路改良工事詳細設計委託費の見込額が判明したため減 △1,500千円(7,500→6,000)</p> <p>4 五兵衛橋架替詳細設計照査委託費の見込額が判明したため減 △3,000千円(13,000→10,000)</p> <p>5 橋りょう補修工事費の減 △123,000千円(140,000→17,000) 令和5年8月に契約発注したが入札不調となったため、内容を精査する必要が生じた。予定していた3か所のうち、新豊橋と花見橋の補修を実施した。 北千住駅西口ペDESTリアンデッキは、デッキがパネルで覆われている構造であるため、今後の点検を行いやすくするための点検口設置工事を予定していたが、必要工期の確保が難しくなった。路面の凸凹の補修等の維持補修対応は完了していることから、安全性に影響のない点検口の設置については、不調となった理由について事業者から聞き取り等を行い、工期や手法等について検討を行っていく。</p> <p>6 江北地区無電柱化電線共同溝工事費の見込額が判明したため減 △34,906千円(172,000→137,094)</p> <p>7 千住地区取付管補修工事費の見込額が判明したため減 △12,000千円(50,000→38,000)</p> <p>8 五反野駅前通り無電柱化工事費の減 △88,000千円(130,000→42,000) 令和5年6月から実施した水路撤去の入札が3回とも不調となった。理由を分析した結果、当現場は駅付近で夜間に工事をおこなうため、騒音などの課題から施工が困難なことが判明した。水路の位置や延長を正確に把握し、周辺環境への影響が少ない施工方法を検討するため、本年度は試掘工事に変更した。</p> <p>9 千住一丁目地区無電柱化に係る引込連系管路工事負担金等NTTへの負担金の見込額が判明したため減 △21,000千円(78,000→57,000)</p> <p>10 千住一丁目地区無電柱化に係る仮移設管路撤去負担金の見込額が判明したため減 △3,000千円(8,000→5,000)</p>
		2 道路の改良事業	△324,406	

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
(土木費)				
		3 密集市街地整備事業	△304,934	<p>1 不燃化特区助成まちづくり専門家派遣経費の実績見込に基づく減 △132千円(318→186) 不燃化特区内の土地又は建物所有者に対する専門家によるアドバイスの申請件数の減 当初見込12件 → 実績見込7件 差引△5件</p> <p>2 不燃化建替え建築費・老朽建築物除却費助成等の実績見込に基づく減 △195,350千円 (730,300→534,950) 建設コストの高騰等により、建替え・除却申請の件数が伸びなかったため以下の見込となった。 (1)不燃化建替え除却・設計監理費助成 △46,698千円(当初38件→実績見込23件 差引△15件) (2)不燃化建替え建築費助成 △61,191千円(当初38件→実績見込6件 差引△32件) (3)老朽建築物除却費助成 △80,499千円(当初260件→実績見込235件 差引△25件) (4)防災生活道路沿道不燃化建替え助成 △6,962千円(当初5件→実績見込2件 差引△3件)</p> <p>3 西新井駅西口周辺地区の補償費(道路用地)について、地権者の意向が変更となり契約に至らなかったことによる減 △16,071千円(116,071→100,000) 買収か所数:当初見込10件 → 実績見込9件 差引△1件</p> <p>4 千住西地区の補償費(道路用地・公園用地)について、地権者との契約が延期となったことによる減 △48,840千円(135,340→86,500) 買収か所数:当初見込6件 → 実績見込5件 差引△1件</p> <p>5 千住西地区の公園用地購入費について地権者との契約が延期となったことによる減 △17,746千円(40,740→22,994) 公園用地:当初見込2件112.36㎡ → 実績見込1件69.32㎡ 差引△1件 △43.04㎡</p> <p>6 千住西地区の公園実施設計委託の減 △2,000千円(7,700→5,700) プチテラス入口に置く園名石などは特殊製品であり、この特殊製品については標準的な構造図がないことから、公園設計をする際、一般的にデザインやサイズなどを一から検討する必要がある。今回は他のプチテラスでの構造図をそのまま用いることとしたため、この検討作業の一部を委託項目から外した。 今後、特殊製品についてはプチテラスの形状や地元要望等を踏まえつつ、他のプチテラスでの構造図を用いることを前提として検討していく。</p> <p>7 千住西地区の支障物(ガス管・電柱)移設の必要が生じなかったことによる負担金の皆減 △1,250千円(1,250→0)</p> <p>8 西新井駅西口周辺地区密集市街地整備計画推進業務ほか5件の発注にあたり、プチテラス設置に関する意見集約を対面方式からアンケート方式に変更するなど内容を精査したことによる減 △16,105千円(71,140→55,035)</p>

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
(土木費)		(密集市街地整備事業)		<p>9 西新井駅西口周辺地区・千住西地区等における用地測量ほか3件の業務委託の実績見込に基づく減 △6,640千円(14,840→8,200) 権利者との交渉状況から測量等委託件数が想定よりも少なくなったため。 当初見込25件 → 実績見込18件 差引△7件</p> <p>10 足立一・二・三丁目地区の道路拡幅整備工事費の減 △800千円(3,000千円のうち2,200千円は千住仲町地区の道路拡幅整備工事へ流用) 地権者の希望により、次年度実施に変更したため。 当初見込1件 → 実績見込0件 差引△1件</p>
		4 水路の整備事業	△ 103,645	<p>1 竜井堀親水水路管理棟撤去及び水路廃滅工事費の皆減 △77,519千円(77,519→0) 令和5年11月に実施した入札が不調となったため、不調理由を分析し、再積算のうえ令和6年度に実施することとした。</p> <p>2 古千谷橋排水場取付水路廃滅工事費が確定したことによる減 △25,000千円(99,600→74,600)</p> <p>3 おとめ橋改修工事費が確定したことによる減 △1,126千円(12,000→10,874)</p>
		5 地区まちづくり計画及び地区計画推進事業	△102,037	<p>1 神明南地区都市計画変更周知等業務委託ほか9件の契約差金等による減 △32,023千円(57,180→25,157)</p> <p>2 江北地区・アクセス道路整備用地購入費(補償費含む)の減 △62,922千円(110,000→47,078) 地権者との交渉の結果、当初想定とは別の用地(1件)を購入した。</p> <p>3 竹ノ塚駅周辺地区・タウンマネジメント運営負担金の減 △4,992千円(5,000→8) 竹ノ塚駅周辺のまちづくりを地域の方と考えていくタウンマネジメントの取り組みについて、関係機関との連携事業ではなく、自主事業として開催したため負担金が削減となった。なお、執行した8千円は、自主事業の実施に必要なイベント保険料の支払いに使用した。</p> <p>4 西新井駅東口周辺地区・用地先行買収建物解体助成の実績見込に基づく皆減 △2,100千円(2,100→0) 地域住民より買取希望がなかったため(当初見込1件→実績見込0件 差引△1件)</p>

款別	補正額	事業名	金額	計上概要																																																	
教育費	3,722,361	1 教育ICT環境整備資金積立基金積立金	6,100,000	<p>1 教育ICT環境整備資金積立基金への新規積立 6,100,000千円 令和元年度から導入を進めてきた小・中学校のタブレット等のICT機器は5年毎に更改を迎えるため、令和6年度から順次更改を進めていく。教育ICT環境整備に係る経費は、5年間で約100億円必要となる見込みであり、確実に財源を確保していくために、令和6年第1回区議会定例会へ「足立区教育ICT環境整備資金積立基金」設置条例案を提出している。 以下の年度別経費一覧のうち、令和6年度から8年度の3年間に係る経費見込61億円の積立を行う。</p> <p>年度別教育ICT関連経費一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>5年間総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童・生徒用端末 教員用端末</td> <td>4.6億円 (うちR6更改 教員用2千台 3.1億円)</td> <td>21.7億円 児童・生徒用 4万台(見込)</td> <td>2.7億円 児童・生徒用 5千台(見込) 教員用 1千台(見込)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>29.0億円 (4万8千台)</td> </tr> <tr> <td>無線アクセスポイント(AP)等</td> <td>8.8億円 (うちR6更改 無線AP 2.5千 台等 7.3億円)</td> <td>1.7億円</td> <td>1.7億円</td> <td>2.8億円</td> <td>1.7億円</td> <td>16.7億円</td> </tr> <tr> <td>端末設定 ヘルプデスク等保守</td> <td>15.2億円</td> <td>16.0億円</td> <td>7.1億円</td> <td>9.4億円</td> <td>7.2億円</td> <td>54.9億円</td> </tr> <tr> <td>合計(A)</td> <td>28.6億円</td> <td>39.4億円</td> <td>11.5億円</td> <td>12.2億円</td> <td>8.9億円</td> <td>100.6億円</td> </tr> <tr> <td>国庫補助金等(B)</td> <td>0.4億円</td> <td>16.1億円</td> <td>2.0億円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>18.5億円</td> </tr> <tr> <td>必要となる財源 (A-B)</td> <td>28.2億円</td> <td>23.3億円</td> <td>9.5億円</td> <td>12.2億円</td> <td>8.9億円</td> <td>82.1億円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">61億円</p>		R6	R7	R8	R9	R10	5年間総額	児童・生徒用端末 教員用端末	4.6億円 (うちR6更改 教員用2千台 3.1億円)	21.7億円 児童・生徒用 4万台(見込)	2.7億円 児童・生徒用 5千台(見込) 教員用 1千台(見込)	0	0	29.0億円 (4万8千台)	無線アクセスポイント(AP)等	8.8億円 (うちR6更改 無線AP 2.5千 台等 7.3億円)	1.7億円	1.7億円	2.8億円	1.7億円	16.7億円	端末設定 ヘルプデスク等保守	15.2億円	16.0億円	7.1億円	9.4億円	7.2億円	54.9億円	合計(A)	28.6億円	39.4億円	11.5億円	12.2億円	8.9億円	100.6億円	国庫補助金等(B)	0.4億円	16.1億円	2.0億円	0	0	18.5億円	必要となる財源 (A-B)	28.2億円	23.3億円	9.5億円	12.2億円	8.9億円	82.1億円
	R6			R7	R8	R9	R10	5年間総額																																													
児童・生徒用端末 教員用端末	4.6億円 (うちR6更改 教員用2千台 3.1億円)			21.7億円 児童・生徒用 4万台(見込)	2.7億円 児童・生徒用 5千台(見込) 教員用 1千台(見込)	0	0	29.0億円 (4万8千台)																																													
無線アクセスポイント(AP)等	8.8億円 (うちR6更改 無線AP 2.5千 台等 7.3億円)			1.7億円	1.7億円	2.8億円	1.7億円	16.7億円																																													
端末設定 ヘルプデスク等保守	15.2億円			16.0億円	7.1億円	9.4億円	7.2億円	54.9億円																																													
合計(A)	28.6億円			39.4億円	11.5億円	12.2億円	8.9億円	100.6億円																																													
国庫補助金等(B)	0.4億円			16.1億円	2.0億円	0	0	18.5億円																																													
必要となる財源 (A-B)	28.2億円			23.3億円	9.5億円	12.2億円	8.9億円	82.1億円																																													

款別	補正額	事業名	金額	計上概要						
(教育費)		(教育ICT環境整備資金 積立基金積立金)		《参考》令和元年度から令和5年度までの経費						
					R1	R2	R3	R4	R5	5年間総額
				児童・生徒用端末 教員用端末	2.2億円 児童・生徒用 5千台 教員用 2千台	23.9億円 (△23.9億円) 児童・生徒用 4万台	2.3億円	5.0億円 (+2.7億円)	2.3億円	35.7億円 (△21.2億円)
				無線アクセスポイント (AP)等	5.4億円	6.0億円	5.0億円	6.1億円 (+1.1億円)	15.0億円 (+10.3億円)	37.5億円 (+11.4億円)
				端末設定 ヘルプデスク等保守	0.3億円	6.1億円 (△2.7億円)	7.1億円 (+2.3億円)	6.8億円 (+2.7億円)	3.7億円	24.0億円 (+2.3億円)
				実績見込額合計(A)	7.9億円	36.0億円	14.4億円	17.9億円	21.0億円	97.2億円
				当初見込額(B) ※令和2年6月時点	7.9億円	62.6億円	12.1億円	11.4億円	10.7億円	104.7億円
				差額(A-B)	0	△26.6億円	2.3億円	6.5億円	10.3億円	△7.5億円
		主な増減理由		①児童・生徒用端末4万台のうち1万台の購入契約差金 ②児童・生徒用端末4万台のうち3万台をWindowsタブレットからChromebookにしたことによる単価差及び購入契約差金	Windowsタブレットを自宅で使えるように設定 5千台	①児童・生徒用端末をChromebookに統一 5千台 ②教員用端末1人1台実現 1千台	デジタル教科書導入に伴う通信環境確保のために無線アクセスポイント追加 3.5千台			

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
(教育費)		2 小学校施設の保全事業	△ 507,226	<p>1 西保木間小学校全体保全工事ほか79件の保全工事の契約差金等による減 △367,086千円(3,473,975→3,106,889)</p> <p>2 興本小学校外壁改修工事設計委託ほか26件の保全工事設計委託の契約差金等による減 △45,313千円(201,492→156,179)</p> <p>3 教室・体育館・給食調理室エアコンリース(64校分)の契約差金等による減 △10,647千円(872,053→861,406)</p> <p>4 小学校66校分の学校施設法定点検委託の契約差金等による減 △25,991千円(41,896→15,905)</p> <p>5 バリアフリースロープ設置委託(3校分)の契約差金等による減 △4,691千円(17,418→12,727)</p> <p>6 アスベスト調査委託の不用見込額の減 △51,817千円(54,120→2,303) 新たに120件分の工事に係る調査委託が必要と見込んでいたが、既知のアスベスト情報で対応可能だったため。</p> <p>7 簡易スロープを消耗品及び備品購入費での購入を予定していたが、大型スロープの設置委託の中で一括して契約対応が可能となったことによる消耗品費及び備品購入費の皆減 △1,681千円(1,681→0)</p>
		3 中学校施設の保全事業	△ 501,088	<p>1 花保中学校全体保全工事ほか40件の保全工事の契約差金等による減 △425,210千円(2,500,914→2,075,704)</p> <p>2 加賀中学校外壁改修設計委託ほか14件の保全工事設計委託の契約差金等による減 △36,782千円(149,620→112,838)</p> <p>3 教室・体育館・給食調理室エアコンリース(34校分)の契約差金等による減 △5,706千円(418,140→412,434)</p> <p>4 中学校34校分の学校施設法定点検委託の契約差金等による減 △11,048千円(20,464→9,416)</p> <p>5 バリアフリースロープ設置委託(1校分)の契約差金等による減 △2,270千円(6,317→4,047)</p> <p>6 アスベスト調査委託の不用見込額の減 △19,177千円(21,197→2,020) 新たに47件分の工事に係る調査委託が必要と見込んでいたが、既知のアスベスト情報で対応可能だったため。</p> <p>7 簡易スロープを備品購入費での購入を予定していたが、大型スロープの設置委託の中で一括して契約対応が可能となったことによる備品購入費の皆減 △895千円(895→0)</p>

款別	補正額	事業名	金額	計上概要
(教育費)		4 学校教育関係施設改修事業	△469,696	<p>1 旧本木東小学校、旧江北小学校、旧鹿浜西小学校解体工事の契約差金等による減 △224,587千円(731,395→506,808)</p> <p>2 旧北鹿浜小学校の跡地利用検討中のため、解体工事保留に伴い皆減 △238,000千円(238,000→0)</p> <p>3 PCB(ポリ塩化ビフェニル)処分委託の契約差金等に伴う不用見込額の減 △2,253千円(3,000→747)</p> <p>4 アスベスト調査委託の当初見込みとの差による不用見込額の減 △753千円(1,353→600)</p> <p>5 廃校となった旧北鹿浜小学校の校舎を活用する場合に必要な定期点検委託を見送ったことによる減 △1,503千円(1,503→0)</p> <p>6 緊急工事対応分の不用見込額の減 △2,600千円(5,200→2,600)</p>
諸支出金	1,092,693	1 国民健康保険特別会計繰出金	1,663,593	<p>1 被保険者数の想定以上の減(当初見込134,233人→実績見込132,883人 差引△1,350人)や法定外繰入の実施により国民健康保険料の値上げを抑制したことによる保険料収納額の減(当初見込15,726,164千円→実績見込14,110,531千円 差引△1,615,633千円)等によるその他一般会計繰出金の増 1,768,899千円(2,977,011→4,745,910)</p> <p>2 保険料決定通知書等の郵送件数の実績減(当初見込1,305,021件→実績見込1,025,116件 差引△279,905件)や封入封緘委託等の委託料の減(当初見込1,005,279千円→実績見込983,710千円 差引△21,569千円)等による国民健康保険課職員給与費等繰出金の減 △95,306千円(1,788,332→1,693,026)</p> <p>3 出生数の見込み減(当初見込450人→実績見込420人 差引△30人)に伴う出産育児一時金等繰出金の減 △10,000千円(150,000→140,000)</p>

款 別	補正額	事 業 名	金 額	計 上 概 要
(諸支出金)		2 後期高齢者医療特別会計繰出金	△443,822	<p>1 広域連合から療養給付費繰出金や保険基盤安定繰出金等の各負担金の決算見込額が提示されたことによる減 △400,932千円(9,492,339→9,091,407)</p> <p>2 後期高齢者医療健康診査の受診見込率の減(当初見込56.0%→実績見込53.0% △3ポイント)に伴う受診件数の見込み減(当初見込54,000件→実績見込50,000件 差引△4,000件)等による健康診査費繰出金の減 △28,586千円(311,679→283,093)</p> <p>3 隔年で年2回作成・送付する「あだち長寿医療だより」印刷費の契約差金(△1,320千円)、封入封緘委託業者から返還(差出有効期限が近いもの)された封筒の使用や在庫管理の徹底による返信用封筒の購入通数の減(当初見込15万通→実績見込7万通 差引△8万通)等による事務費繰出金(一般事務費分)の減 △9,104千円(131,132→122,028)</p> <p>4 常勤・再任用職員の欠員補充等も見込んだ会計年度任用職員(事務補助員)報酬・共済費等の支給見込み月数の減(当初見込96月→実績見込56月 差引△40月)による職員給与費等繰出金の減 △5,200千円(265,106→259,906)</p>
		3 介護保険特別会計繰出金	△127,078	<p>1 介護予防・生活支援サービス給付件数の実績見込みの減(当初見込91,191件→実績見込57,653件 差引△33,538件)等に伴う地域支援事業費繰出金の減 △107,712千円(529,792→422,080)</p> <p>2 区内銭湯数減少(当初見込26施設→実績見込24施設 差引△2施設)によるふれあい遊湯う開催回数減(当初見込 週9回→実績見込 週6回 差引△週3回)による委託料の減や、元気応援ポイント事業活動交付金申請件数の実績見込みの減(当初見込1,300件→実績見込500件 差引△800件)による補助交付金の減等に伴う事務費繰出金の減 △19,366千円(1,434,983→1,415,617)</p>
合 計	△ 5,815,241			

令和5年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 主要事業概要

(単位:千円)

補正額計	事業名	金額	計上概要
△ 770,108	1 保険給付費等交付金償還金支出事務	660,644	1 令和4年度分保険給付費等交付金の交付額確定に伴う超過交付分の都への返還金等 660,644千円
	2 一般被保険者療養給付費支出事務	△ 1,000,000	1 療養給付費支給件数見込による減 △1,000,000千円(40,586,188→39,586,188) 当初見込2,390,877件 → 実績見込2,331,968件 差引△58,909件
	3 一般被保険者高額療養費支出事務	△ 200,000	1 高額療養費の支給件数見込による減 △200,000千円(6,353,207→6,153,207) 当初見込62,328件 → 実績見込60,366件 差引△1,962件

令和5年度 介護保険特別会計補正予算(第3号) 主要事業概要

(単位:千円)

補正額計	事業名	金額	計上概要
△869,993	1 介護予防・生活支援サービス事業	△ 801,370	1 介護予防・生活支援サービス給付件数の実績見込に基づく負担金の減 △800,000千円 (2,165,170→1,365,170) 当初見込91,191件 → 実績見込57,653件 差引△33,538件 2 生活支援サポーター養成研修の開催回数減(当初見込15回→実績見込8回 差引△7回)に よる研修講師謝礼の減 △510千円(1,004→494) 3 生活支援サポーター養成研修時の一時保育(当初見込5回→実績見込1回 差引△4回)に 係る委託料等の減 △452千円(540→88) 4 封筒作成ほか印刷製本費や事務用消耗品等の購入実績に基づく減 △408千円(461→53)

補正額計	事業名	金額	計上概要
	2 一般介護予防事業	△ 47,973	<p>1 区内銭湯数減少(当初見込26施設→実績見込24施設 差引△2施設)によるふれあい遊湯う開催回数減(週9回→週6回 差引△週3回)による委託料の減 △15,914千円(40,940→25,026)</p> <p>2 元気応援ポイント事業活動交付金申請件数の減(当初見込1,300件→実績見込500件 差引△800件)による補助交付金の減△8,000千円(13,000→5,000)、活動褒賞受賞者数の減(当初見込200人→実績見込40人 差引△160人)等による委託料・消耗品費の減 △2,643千円(2,978→335)</p> <p>3 はじめてのフレイル予防教室の契約差金による委託料の減 △7,234千円(30,082→22,848)</p> <p>4 体力測定会への理学療法士の派遣未実施(体力測定会の開催日程が理学療法士協会の派遣対応可能日程と合わなかったため)による委託料の減 △5,040千円(5,040→0)</p> <p>5 介護予防チェックリスト対象者(当初見込50,000人→実績見込43,000人 差引△7,000人)、回答者(当初見込43,000人→実績見込25,500人 差引△17,500人)の見込人数と実績人数との差に伴う郵送件数の減による通信費の減 △3,220千円(13,357→10,137)</p> <p>6 令和5年度から「Zoomでオンライン体操教室」の通年実施を開始したことに伴い、介護予防事業全体の見直しの一環として体操DVDを作成しなかったことによる委託料の減 △2,500千円(2,500→0)</p> <p>7 パークで筋トレ・ウォーキング教室の契約差金等による委託料の減 △2,204千円(13,200→10,996)</p> <p>8 報償費・印刷製本費等の契約差金・実績に基づく減 △1,218千円(12,377→11,159)</p>

令和5年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)主要事業概要

(単位:千円)

補正額計	事業名	金額	計上概要
△ 408,824	1 一般会計繰出金	86,284	1 令和4年度の特別会計内の繰越金が確定したこと及び東京都後期高齢者医療広域連合からの補助金見込額の計上による増 86,284千円(5,801→92,085)
	2 療養給付費負担金支出事務	△ 283,890	1 広域連合から療養給付費負担金の決算見込額が提示されたことによる減 △283,890千円(6,731,739→6,447,849)
	3 保険基盤安定負担金支出事務	△ 88,253	1 広域連合から保険基盤安定負担金の決算見込額が提示されたことによる減 △88,253千円(1,825,640→1,737,387)

令和5年度 一般会計補正予算(第9号) 繰越明許費補正

1 追加

(単位:千円)

No.	款	項	事業名	金額
1	2 総務費	1 総務管理費	区有財産管理事務	440
2	2 総務費	1 総務管理費	情報システムの構築、改造事業	36,143
3	5 環境衛生費	2 衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業	25,108
4	6 土木費	2 道路橋梁費	道路の改良事業	67,960
5	6 土木費	2 道路橋梁費	駐輪場の建設・改修事業	56,600
6	6 土木費	4 都市計画費	地区まちづくり計画及び地区計画推進事業	5,100
7	6 土木費	4 都市計画費	鉄道立体化の促進事業	40,100
8	6 土木費	4 都市計画費	公園等の整備事業	12,200
9	6 土木費	4 都市計画費	道路の新設事業	77,742

令和5年度 一般会計補正予算(第9号) 債務負担行為補正

1 追加

(単位:千円)

No.	事 項 名	期 間	限 度 額
1	北綾瀬駅前交通広場整備に伴う環状7号線改修工事	令和5年度から令和7年度まで	250,000
2	北綾瀬駅前交通広場及びペDESTリアンデッキ整備工事	令和5年度から令和7年度まで	1,090,000
3	北綾瀬駅前ペDESTリアンデッキ整備工事施工監理委託	令和5年度から令和7年度まで	40,000
4	北綾瀬駅前交通広場整備に伴う民間区画整理施行者負担金	令和6年度から令和7年度まで	32,000
5	竜井堀親水水路改修工事	令和5年度から令和6年度まで	100,000
6	デマンドタクシー利用ガイド印刷製本委託	令和5年度から令和6年度まで	1,600
7	花畑地域学習センター吸収冷温水機伝熱管の修繕	令和5年度から令和6年度まで	19,800
8	足立区こども未来創造館の管理運営	令和5年度から令和8年度まで	足立区が指定管理者との協定に基づき負担する施設の管理運営費
9	足立区西新井文化ホールの管理運営	令和5年度から令和8年度まで	足立区が指定管理者との協定に基づき負担する施設の管理運営費

2 変更

(単位:千円)

No.	事 項 名	期 間	限 度 額
1	地域防災計画の改定委託	令和5年度から令和6年度まで	15,807
		令和5年度から令和7年度まで	28,358

特定目的基金の積立状況

予算ベース

↓R4決算時(一般会計)

(単位:千円)

一般会計

項 目	基金の主な使途	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
		4年度末 現在高 ^a	5年度 当初積立	5年度 当初取崩	5年度 当初現在高	1号 取崩	2号 取崩	3号 取崩	4号 取崩	剰余金 基金編入	5号 積立	5号 取崩	6号 取崩	7号 取崩	9号 積立	9号 取崩	5年度末 現在高 ^b	5年度末 現在高の割合	年度末 現在高比較 ^{b-a}
I 財源対策のための基金																			
1 財政調整基金	財源不足、災害復旧等必要とされる事業	46,970,243	18,300	8,535,313	38,453,230	124,752	1,703,390	770,457	△ 397,864	6,600,000		439,217	△ 1,363,682	△ 530,155	2,880	△ 1,477,243	45,787,238	25.4%	△ 1,183,005
2 減債基金	特別区債の償還	5,163,479	4,950	667,000	4,501,429									90		4,501,519	2.5%	△ 661,960	
合 計		52,133,722	23,250	9,202,313	42,954,659	124,752	1,703,390	770,457	△ 397,864	6,600,000	0	439,217	△ 1,363,682	△ 530,155	2,970	△ 1,477,243	50,288,757	27.9%	△ 1,844,965
II 施設整備のための基金(主にハード事業)																			
1 義務教育施設建設資金積立基金	小・中学校施設整備	58,588,923	50,880	5,025,489	53,614,314					1,109,000	△ 310,000				4,930	△ 1,158,058	56,196,302	31.2%	△ 2,392,621
2 教育ICT環境整備資金積立基金(第1回定例会で条例案審議中)	教育ICT環境の更新	-	-	-	-										6,100,000		6,100,000	3.4%	6,100,000
3 子ども・子育て施設整備基金	保育施設、学童保育室の整備	692,360	5,156	155,276	542,240								2,757		2,498	△ 52,275	594,256	0.3%	△ 98,104
4 地域福祉振興基金	特別養護老人ホーム、障がい福祉施設の整備	4,375,627	15,984	1,965,846	2,425,765					3,392,000	31,399	34,029			56,099	△ 493,643	6,302,079	3.5%	1,926,452
5 公共施設建設資金積立基金	住区センター、地域学習センター、スポーツ施設等の整備	50,684,467	40,850	4,470,000	46,255,317					951,000	△ 37,000	△ 195,000			36,378	△ 516,000	47,990,695	26.6%	△ 2,693,772
6 一般区営住宅改修整備資金積立基金	区営住宅の大規模修繕・建替	2,043,607	151,830	622,861	1,572,576							183,545			190	△ 2,182	1,391,403	0.8%	△ 652,204
7 防災減災対策整備基金	防災強化に資する整備耐震化助成	6,648,243	6,420	1,028,000	5,626,663										100		5,626,763	3.1%	△ 1,021,480
8 竹の塚鉄道立体化及び関連都市計画事業資金積立基金	竹ノ塚駅付近の鉄道立体化の整備	2,481,468	2,550	992,525	1,491,493								227,600		200	△ 8,238	1,272,331	0.7%	△ 1,209,137
9 大学病院施設等整備基金(令和5年10月廃止)	大学病院の整備	0	0	0	0												0	0.0%	0
合 計		125,514,695	273,670	14,259,997	111,528,368	0	0	0	0	5,452,000	△ 132,056	69,386	0	6,200,395	△ 2,230,396	125,473,829	69.6%	△ 40,866	
III 特定の事業推進のための基金(主にソフト事業)																			
1 育英資金積立基金	奨学金の給付・貸付・返済支援、高校等入学準備金助成	1,842,566	571,615	328,336	2,085,845										65,650	△ 62,563	2,214,058	1.2%	371,492
2 あだち子どもの未来応援基金	子ども食堂運営団体等の支援児童養護施設退所時の支援	435,938	101,390	65,110	472,218								△ 3,854		22,767	△ 23,074	521,913	0.3%	85,975
3 協働・協創パートナー基金	居場所づくり等社会貢献活動を行うNPO団体等への支援	215,226	2,210	9,000	208,436										△ 300	△ 2,015	210,151	0.1%	△ 5,075
4 文化芸術振興基金	区民の芸術鑑賞、将来活躍を目指すアーティストへの支援	137,688	340	12,600	125,428										950		126,378	0.1%	△ 11,310
5 環境基金	エコ活動に取り組む区民・団体等への支援	344,661	630	30,000	315,291										710	△ 28,365	344,366	0.2%	△ 295
6 緑の基金	保存樹木育成、樹木樹勢回復、荒川河川敷桜づつみの管理	1,207,336	3,850	48,769	1,162,417										30		1,162,447	0.6%	△ 44,889
合 計		4,183,415	680,035	493,815	4,369,635	0	0	0	0	0	0	0	△ 3,854	0	89,807	△ 116,017	4,579,313	2.5%	395,898
総合計(I+II+III)		181,831,832	976,955	23,956,125	158,852,662	124,752	1,703,390	770,457	△ 397,864	6,600,000	5,452,000	307,161	△ 1,298,150	△ 530,155	6,293,172	△ 3,823,656	180,341,899	100.0%	△ 1,489,933

介護保険特別会計

項 目		4年度末 現在高 ^a	5年度 当初積立	5年度 当初取崩	5年度 当初現在高						1号 積立		2号 取崩		3号 積立	3号 取崩	5年度末 現在高 ^b		年度末 現在高比較 ^{b-a}
1 介護保険給付準備基金	次期介護保険料の上昇抑制等	3,696,963	3,470	3,322,000	378,433						1,218,408		△ 1,412,216		290	△ 197,205	3,206,552		△ 490,411

※表示金額は表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため合計に一致しない場合がある。